

“人を育てる森”をつくりたい

小さくはじめて、大きく育てる

“平子の森”の遊び場づくり

さあ、一緒にはじめましょう

1. これまでの取組
2. これまでの利活用の検討経緯
3. 萌芽的な利活用に向けた夢
4. 萌芽的な利活用のはじめ方
5. 萌芽的な利活用の方向性

1. これまでの取組

平子町北地内市有地（通称：平子の森）は、市が所有する旧名古屋市立保育短期大学や旧緑丘小中学校等の跡地です。

これまで、仮設広場を整備して子どもたちのスポーツ教室で使ったり、市民の皆さんと一緒に草刈り活動をしたりする等の取組を進めてきました。

また、近年では「北側オープンスペース」を旭労災病院の建替工事のために貸したり、子ども向けのイベント「平子の森プレーパーク」を開催して、木の上に秘密基地を作ったりもしています。



仮設広場



北側オープンスペース



平子の森プレーパーク

2. これまでの利活用の検討経緯

「平子の森」の利活用については、これまでも様々な角度から検討を重ねてきました。その中から、今後に向けた「萌芽^{*}的な利活用」におけるキーワードとして、「自然（みどり）」、「体感」、「子どもたち」、「魅力や価値の向上」の4つを見出しました。

※萌芽…草木の芽のもえ出ること、めばえ、新しい物事が起こりはじめること、物事の起こるきざし

時期	検討内容	結果
H22年度	特別委員会 ・取得意向の検討	・公共施設の建設・仮設用地として有効活用できるため取得を検討
H25年度	利活用に係る基礎調査	・当該地の概況を把握
H26年度 ～H27年度	利活用懇談会(6回開催) ・市民アンケートの実施 ・利活用構想案を作成・公表	・短期的取組として「市民の当該地への認知度を高める取組」を掲げる
H27年4月	仮設広場の一時利用開始	・少年サッカー教室などの利用が継続
H29年度 ～H30年度	利活用方法の検討 ・有識者、専門家から意見聴取 ・意見を可視化したイメージコンセプト11案を作成・公表	・利活用の3つの方向性 「産業活力の創出」「都市の魅力向上」 「新たなライフスタイルの創出」 ・緑豊かなまちのイメージの継承が課題
H30年度～	自然環境を活かしたイベント「平子の森プレーパーク」の開催	・参加者（親子）に好評で発展的に継続
R元年度	先進事例視察	・水耕栽培、菌床栽培の可能性 ・シェアオフィスの可能性
R元年度	民間事業者ヒアリング	・子どもの遊び場としての可能性 ・フットサル場としての可能性



これからの萌芽的利活用のキーワード

「自然（みどり）」 「体感」 「子どもたち」 「魅力や価値の向上」

3. 萌芽的な利活用に向けた夢

前述のキーワードを踏まえ、「平子の森」の萌芽的な利活用に向けた夢をまとめました。

人を育てる森づくり

この土地はかつて、保育を学ぶ若者を育て、子どもたちを育て、笑顔があふれる場所でした。

この場所が、再び若者や子どもたちの思い出が育まれる場所、人が育つ場所になってほしい。

家族や友人と一緒に、市内外から訪れた方が、「楽しかった」、「よい経験・体験ができた」、「おいしかった」などの小さな感動を持ち帰ってほしい。

家族や友人の絆を深め、この場所の新たなファンができ、将来の本市の活性化に向けた芽になってほしい。

この場所を楽しく使って、この場所の価値を高めていきたい。

豊富な経験やアイデア・ノウハウを持つ市民や民間事業者等と一緒に、訪れた方がワクワクするような場所をつくりたい。

小さな取組からはじめて、少しずつ、大きく育てていきたい。

4. 萌芽的な利活用事業のはじめ方

萌芽的な利活用に向けた夢を実現するため、次のような形で事業をはじめていきます。

小さな取組からはじめます

(1) 小さな取組をはじめめる場所

これまで使われてきた場所を基本に、以下の場所を使用します。

- ・ A 区域 平子の森プレーパーク
- ・ B 区域 北側オープンスペース+隣接する森

(2) 小さな取組の期間（萌芽的な利活用事業の期間）

萌芽的な事業を、できるだけ早くはじめるため、以下の期間を設定します。

- ・ 令和4年度から5年間程度

(3) 小さな取組に関わる人（萌芽的な利活用事業のターゲット）

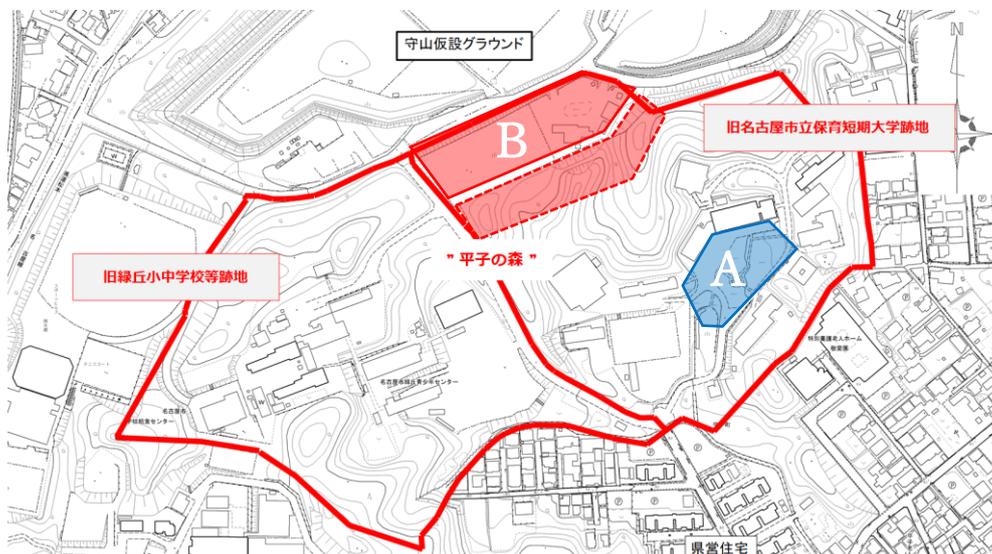
- ・ A 区域 市民を対象に、子どもや多世代の大人をメインターゲットとします。
- ・ B 区域 市内外の方を対象に、家族や若者をメインターゲットとします。

(4) 小さな取組のはじめ方

- ・ A 区域 市民と一緒に、現在の取組の発展や拡大をめざします。
- ・ B 区域 民間事業者等と一緒に、萌芽的な利活用策を検討していきます。

(5) 留意事項

- ・ 今ある自然や土地の形状をいかします。
- ・ 必要最小限の費用のもとで、事業を実施します。



5. 萌芽的な利活用の方向性

ア A 区域について

A 区域では、これまで市内の子どもたちを対象として、「平子の森プレーパーク」というイベントを実施してきました。

この小さな取組が今後発展・拡大していき、子どもたちが自分で考え、工夫し、チャレンジできる遊び場へと育って行ってほしい。

また、さまざまな世代の大人たちにも、「遊びの知恵」を子どもたちへ伝えたり、元気に「遊び場づくり」や「運営」に関わったりしてほしい。

こんなことが実現すれば、今よりも、もっと楽しくなると思います。

このため、遊び場づくりや運営に協力していただける市民を募集し、市民と一緒に、子どもたちがのびのびと自由に遊べる環境づくりをはじめます。

◎萌芽的利活用の方向性

市民とともに、多世代が関わる「自由な遊び場」をつくります。

イ B区域について

B区域では、旭労災病院の建替工事に協力するため、市有地北側オープンスペースを民間事業者に貸していました。

自由度の高いオープンスペースや隣接した森林の使い方は、豊富なアイデア・ノウハウを持つ民間事業者等と一緒に考えることで、魅力的な取組につながる可能性があります。

市内外から人が訪れ、「楽しい」「おいしい」「初めての体験」など、小さな感動を持ち帰ってほしい。子どもや若者が自然とふれあい、思いっきり体を動かせる場所にもなってほしい。

こんなことが実現すれば、この土地のファン、尾張旭市のファンが、きっと増えると思います。

このため、民間事業者から短期的利活用事業の提案を募集し、事業の実施をとおし、当該市有地の市場性や利用者ニーズ等を把握し、さらなる利活用の検討を進めていきます。

◎萌芽的利活用の方向性

民間事業者等とともに、家族や友人と訪れる「魅力的な遊び場」をつくります。